

令和元年度 当初予算テーマ 「ひと」が輝く「まち」を育てる ともに支えあう

1 「ひと」が輝く

子育て支援・教育の充実や健康増進で一人ひとりが輝ける環境をつくる

新規	認定こども園整備事業	9,176万1千円
	病児保育事業	1,681万5千円
	子どもに係る国民健康保険税の減免事業	3,772万3千円
	多子世帯給食費負担軽減事業	2,638万6千円
拡充	らく楽健康体操事業	99万1千円
	白河っ子すくすく赤ちゃんクーポン券支給事業	2,928万4千円
	待機児童対策事業	2億3,507万円

病児保育事業

保護者の育児の負担を軽減するため、病気の治療中または回復期にあり、保育園や家庭での保育が困難な子どもを預かる施設を運営します（平成31年4月から開始）。

多子世帯給食費負担軽減事業

子育てしやすい環境を充実させるため、18歳以下の兄弟姉妹のうち、義務教育を受けている第3子以降の児童生徒を対象に学校給食費を全額助成します。

農業の未来をつくるスマート農業推進事業

農業の省力化や負担の軽減を図るため、農業技術の向上や生産の効率化につながるICT機器やロボット技術の導入について補助します。

新婚生活スタート応援事業

定住促進や少子化対策のため、若年・低所得の新婚世帯の新生活に必要な経費（住宅取得、家賃など）の一部を補助します。

若者居場所づくり事業

ひきこもりなど社会生活を営むうえで困難を抱える若者を対象に「居場所（ユースプレイス）」を提供し、社会性や就労意欲の向上のためのプログラムを実施します。

空き家対策事業

空家等利活用促進対策協議会を設立し、これまでの取り組みに加え、新たに倒壊のおそれがある空き家などの解体費を補助します。

2 「まち」を育てる

産業の活性化や文化の振興により、一層魅力ある「まち」に育てる

新規	農業の未来をつくるスマート農業推進事業	500万円
	農業水路等長寿命化・防災減災事業	7,870万円
	新婚生活スタート応援事業	330万円
	白河文化交流館（コミネス）開館3周年記念事業	1,278万3千円
	芭蕉白河の関俳句賞	135万円
	特別企画展「(仮称)白河と歴代藩主」開催事業	498万4千円
継続	アジアインバウンド誘致事業	1,131万4千円

3 ともに支えあう

皆が支えあい、いきいきと暮らすための福祉やコミュニティの充実

新規	消防団員装備品整備事業	569万4千円
	地域情報システム構築事業	1,535万4千円
	若者居場所づくり事業	300万円
拡充	高齢者サロンあったかセンター事業	642万7千円
	地域おこし協力隊活用事業	1,765万3千円
	空き家対策事業	433万6千円
継続	まちづくり・ひとづくり事業	756万円

※1～3は、主な事業を抜粋

令和元年度一般会計予算
283億2千万円

予算規模は前年度比△0.5% 額にして1億4千万円減

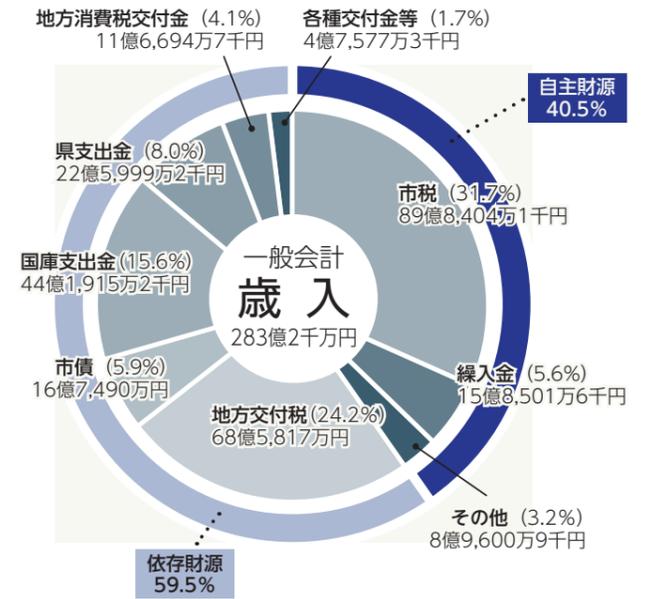
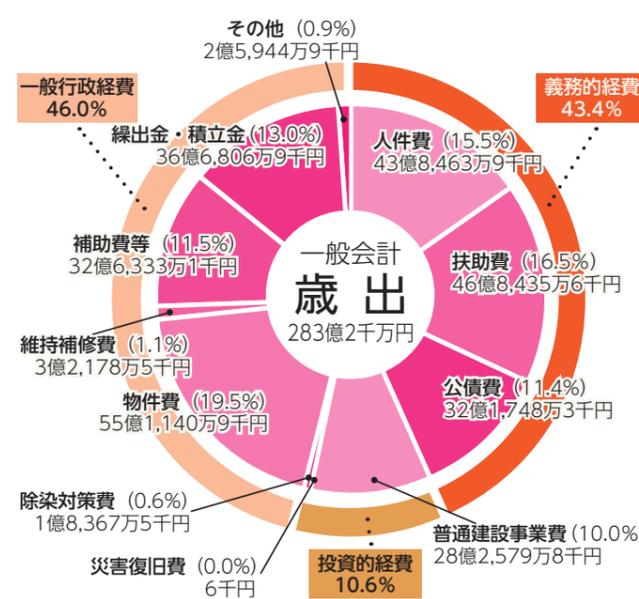
一般会計予算規模の推移

年度	歳出予算額（全体）	
	通常分	除染関係分
平成27年度	455億6千万円	126億0千万円
平成28年度	377億9千万円	80億7千万円
平成29年度	278億7千万円	12億8千万円
平成30年度	284億6千万円	2億5千万円
令和元年度	283億2千万円	1億8千万円

令和元年度 当初予算

今年度の一般会計予算の総額は、283億2千万円となりました。

未来を担う子どもたちを育み、市民一人ひとりが大いに活躍できるように、ともに支えあひ、いきいきと暮らしていける「まち」にしていけるための施策として「ひと」が輝く、「まち」を育てる、ともに支えあう」の3つの柱に重点を置き、予算に反映させています。



特別会計予算額

会計名	予算額	前年度比 (%)
国有林野払受費	18万7千円	1.1
教育財産	87万4千円	1.4
小田川財産区	69万2千円	△46.1
大屋財産区	40万2千円	0.5
樋ヶ沢財産区	50万7千円	△1.6
土地造成事業	4,997万6千円	0.0
国民健康保険	55億9,158万1千円	△4.9
後期高齢者医療	6億1,306万2千円	△0.1
介護保険	58億3,213万7千円	7.1
地方卸売市場	2,031万円	7.8
公共下水道事業	20億9,313万7千円	△2.2
農業集落排水事業	9億2,650万2千円	3.3
個別排水処理事業	9,709万6千円	△0.1
合計	152億2,646万3千円	0.6

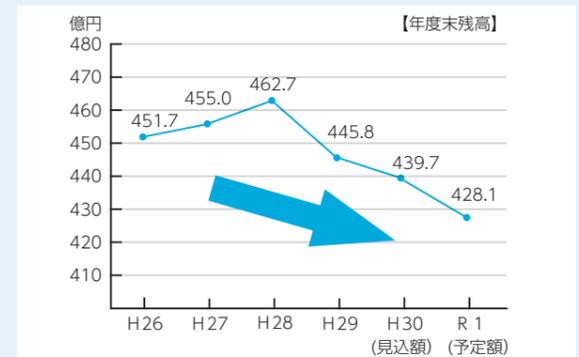
公営企業会計予算額

会計名	予算額	前年度比 (%)
水道事業	24億6,496万8千円	6.8
工業用水道事業	1億2,218万3千円	13.1
合計	25億8,715万1千円	7.1

予算や決算の状況は、市ホームページで公表しています。

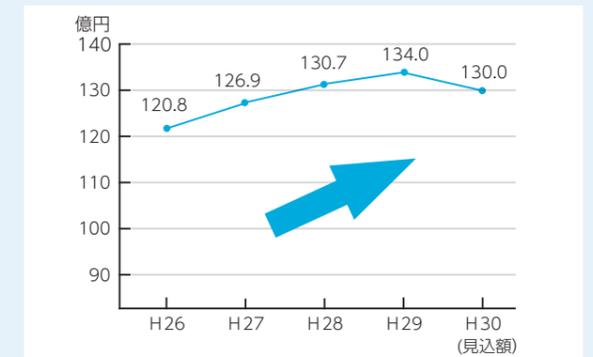
☎本庁舎財政課 内2333

市債・企業債の推移



市の「借入金」に当たる市債（臨時財政対策債を除く）・企業債は、計画的に借入れと返済を行っており、減少する見込みです。

基金の推移



市の「貯金」に当たる基金は、健全な財政運営のため積み立てており、住民福祉の向上や教育・文化の振興、施設の維持管理など、必要に応じて有効に活用しています。